

着々と進む地理情報標準（JPGIS） 適合性認証事業

山田 秀之¹

1. はじめに

財団法人日本測量調査技術協会GISセンターでは、現在、「地理情報標準（JPGIS）適合性認証事業」を行っています。この事業は、製品仕様書やGISソフトウェア等の地理情報関連製品に対して、ISO（国際標準化機構）が定める国際標準に準拠したJPGISの適合マーク表示を希望されるお客様を対象として、第三者機関として、JPGISへの適合性評価・認証サービスを提供するものです。

本稿では、このJPGIS適合性認証事業の立ち上げから現在に至るまでの経緯を整理するとともに、現在の状況や今後の予定について、ご紹介いたします。

2. 測技協の地理情報標準への取り組み

GIS（地理情報システム）は今や、行政分野に限らず民間企業や個人での利用等、様々な分野で活用されています。しかし、GISの数だけ異なった形式の地理情報が存在すると言っても過言ではなく、データ整備の重複投資や変換ソフト作成のコスト負担などの問題点が指摘されています。GISの利活用を促進するためには、異なるシステム間で地理情報の相互利用が容易に行える環境整備が必要であり、そのためには地理情報の標準化が不可欠となっています。

国際標準化機構（ISO）は、平成6年に地理情報の標準化を審議するISO/TC211を設置しました。財団法人日本測量調査技術協会

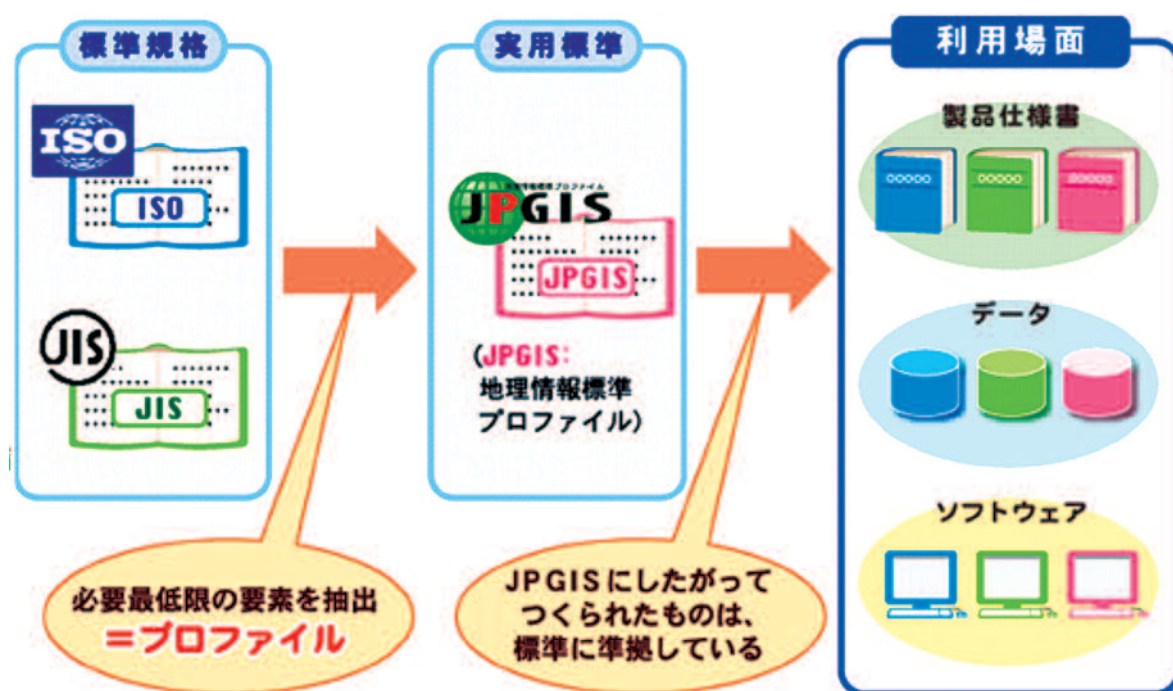
（測技協）は、平成7年1月に地理情報の国際標準を審議するISO/TC211のわが国唯一の審議団体に認定され、GISと地理情報標準の普及及び啓発のための活動拠点として設置したGISセンター（センター長 伊理正夫）を中心に、国際標準の審議を行うとともに、国内標準（地理情報に関するJIS規格）の策定に取り組んでおります。

3. 地理情報標準プロファイル（JPGIS）とは

国土地理院は、平成17年3月、ISO/TC211の国際規格（ISO19100シリーズ）および日本工業規格（JISX7100シリーズ）から、日本での実利用に必要な内容を絞り込んで体系化した実用標準としての「地理情報標準プロファイル（JPGIS：Japan Profile for Geographic Information Standards）」を作成しました。現在の最新版は、「Ver.1.0 平成19年3月（一部改訂）」版です。



¹ (財)日本測量調査技術協会GISセンター



JPGISには、地理情報の設計方法、品質の考え方や表示方法、製品仕様書の記述などのルールが定めてあり、国土地理院は、空間データの整備および流通において、JPGISの使用を推奨しています。JPGISに準拠して空間情報を整備しておくことにより、情報共有および空間情報の利活用の促進が期待されています。

4. JPGIS適合性認証事業の立ち上げ

地理空間情報が流通する場面において、地理空間情報が一定のルール（JPGIS）に準拠して作成されていることが明らかになれば、地理空間情報を利用する側も安心です。そのためには、中立的な第三者機関によって、JPGISへの適合性が「認証」され、そのことが明示されていることが必要です。

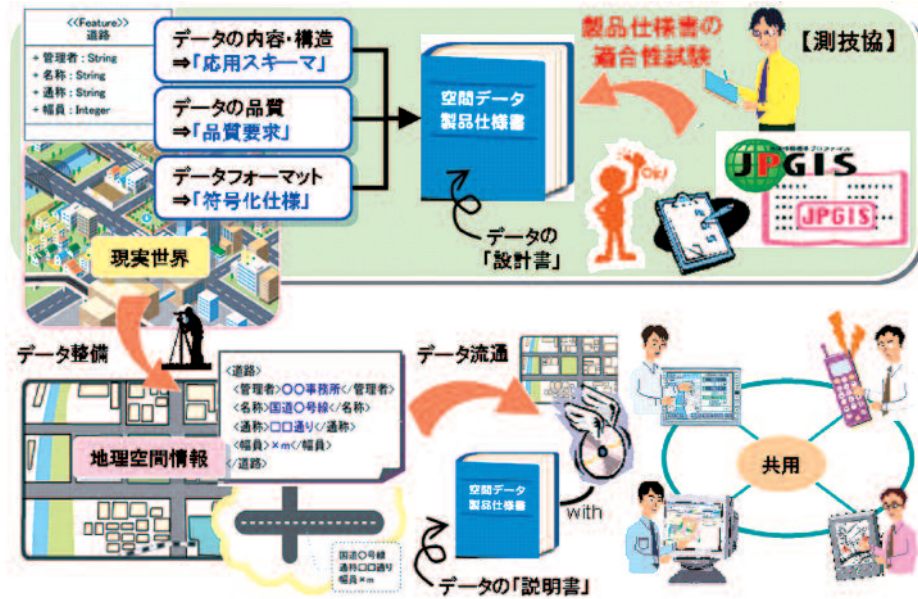
測技協では、地理情報標準への取り組みの経験と実績をベースに、地理情報標準の普及促進を目的として「地理情報標準プロファイル（JPGIS）適合性認証事業」を行うこととし、平成18年10月にプレス発表を行い、適合性認証試験のための基準策定や運用体制の整備を行ってきました。

5. JPGIS適合性認証事業の概要

ISOの国際規格は、「地理情報標準への適合を宣言するためには適合性試験の実施をすること」を義務づけています。測技協GISセンターは、JPGISが規定する試験項目に基づいて適合性試験を行い、JPGIS関連製品の適合性を第三者機関として客観的に評価します。各対象製品ごとの認証範囲と試験方法の概要は以下の通りです。

認証区分	概要
製品仕様書	地理空間情報の構造や品質などを説明する製品仕様書がJPGISのルールに則っているか評価する。
メタデータ	地理空間情報の流通に不可欠な品質ラベル（メタデータ）がJPGISのルールに則って表示されているか、製品仕様書が規定する内容に合致した表示となっているか評価する。
ソフトウェア	GISソフト等、地理空間情報を扱うアプリケーションがJPGISに準拠した地理空間情報を正しく入力、蓄積・加工及び出力できるか評価する。

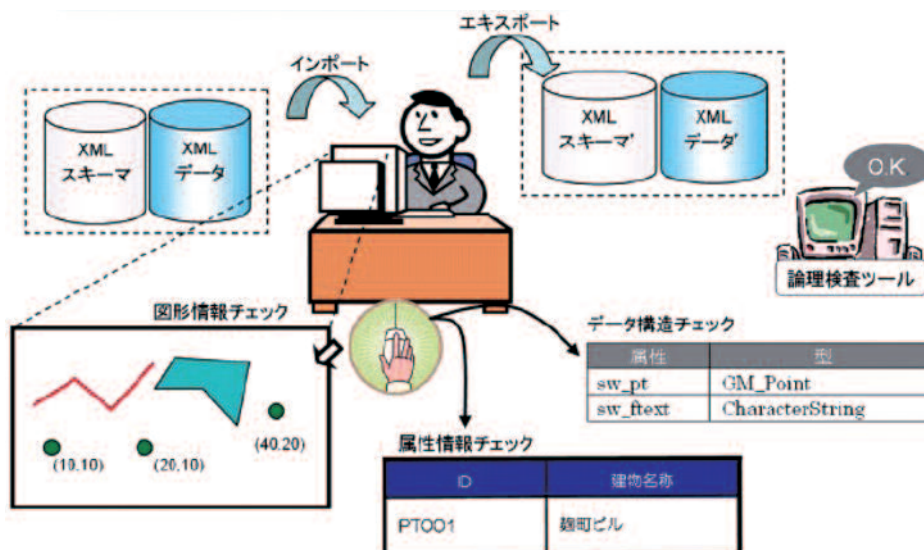
■製品仕様書の認証



■メタデータの認証



■ソフトウェアの認証



■適合性試験と認証の流れ

お問い合わせ	当協会Webページで認証基準をご確認のうえ、送信フォームにてお問い合わせください。
お申込み	お見積もりをお送りしますので、確認のうえ、お申込みください。
製品試験	基準に基づき、当協会GISセンターにて試験を実施し、結果を通知いたします。 初回試験での不適合事項は、是正のうえ再試験を受けることができます。
判定・認証	試験結果をもとに、判定委員会によるJPGIS適合性の判定を行います。 試験・審査料等をお支払いいただき、JPGIS認証マーク表示契約を締結します。

適合性試験の基準、手続きの詳細については、測技協HPをご覧ください。

測技協HP：<http://www.sokugikyo.or.jp/>

6. 事業の実施経緯と今後の予定

測技協におけるJPGIS適合性認証事業の実施経緯と今後の予定については以下の通りとなります。

事業化ステップ		時 期
事業開始のプレス発表		平成18年10月
適合性試験基準の作成と運用体制整備		平成18年10月～平成19年6月
測技協HPページにJPGIS認証事業のコーナーを開設		平成19年7月
①製品仕様書	試験基準をHPに公開	平成19年7月
	受付け開始	平成19年7月
②メタデータ	試験基準は作成済み	平成19年6月
	運用開始に向けて、関係機関と調整中	
③ソフトウェア	パイロット試験の実施	平成19年8月～10月
	試験概要をHPに公開	平成19年12月
	試験基準を公開	平成20年1月

7. 認証のメリット

当協会の認証を受けることにより、以下のような効果が期待できます。

- ・国際規格に準拠する地理空間情報として認証されることにより、相互運用性に優れた地理空間情報サービスの提供が可能となります。
- ・JPGIS適合性認証マークによって、一般ユーザー（利用者）に当該製品の信頼性

をアピールすることができます。

- ・利用者にとっては、相互運用性に優れた地理空間情報を安心して利用できるメリットがあります。

このように、地理空間情報関連製品のJPGIS適合性認証は、いろいろな面で大きなメリットがあります。是非、当協会GISセンターの認証サービスをご利用ください。